小6 社会 歴史 縄文～江戸 一問一答（20問）　版I

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 前が四角く後ろが丸い形をした、大きな墓の形を何というか

(2) 3世紀に邪馬台国を治め、30ほどの国を従えた女王はだれか

(3) 弥生時代に、とれた米をたくわえるためにつくられた、床の高い倉を何というか

(4) 地面を掘り下げて柱を立て、屋根をかけた住まいを何というか

(5) 中国や朝鮮半島から日本に移り住み、進んだ技術や漢字を伝えた人々を何というか

(6) 710年に、奈良につくられた都を何というか

(7) 娘を天皇のきさきにして大きな力を持ち、「この世をば わが世とぞ思ふ」の歌をよんだ貴族はだれか

(8) 何度も失敗しながら中国（唐）からわたって来て、正しい仏教の教えを伝えた僧はだれか

(9) 漢字をもとにして、日本でつくられたひらがなとかたかなをまとめて何というか

(10) 645年に、中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏をたおして始めた政治の改革を何というか

(11) 役人の心構えを示すために定められた、17の条文からなるきまりを何というか

(12) 中国の唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを何というか

(13) 鎌倉時代に、2度にわたって九州北部に攻めてきた、モンゴル人がつくった中国の国を何というか

(14) 平氏をほろぼしたあと、鎌倉に幕府を開いた人物はだれか

(15) 室町幕府の8代将軍で、京都の東山に銀閣を建てた人物はだれか

(16) 16世紀の半ばに、種子島に流れ着いたポルトガル人によって伝えられた武器を何というか

(17) 豊臣秀吉が、百姓から刀などの武器を取り上げたことを何というか

(18) 『古事記』を研究して『古事記伝』を書き、国学を広めた人物はだれか

(19) 大名が1年おきに、江戸と自分の領地を行き来するきまりを何というか

(20) 「東海道五十三次」など、各地の風景の浮世絵をえがいた人物はだれか